



山田こうじです！

2016年5月15日

NO.143

事務所：西院下花田町9-25

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

苦情多発！無許可民泊対策を！

熊本地震

被災地に義援金をお届けしました。

5月9日に行われた経済総務委員会に「京都市民泊実態調査」の報告がありました。

民泊紹介サイトに掲載されている2702件の調査で、旅館業の許可を取っているのは僅か189件(7%)にすぎず、そもそも営業できない地域の民泊は322件にも上ることが明らかになりました。

先が分らない。住宅密集地で、深夜にキャリパーバック等の騒音や、ゴミ出し、清掃などトラブルが発生し、京都市に276件の苦情が寄せられています。

民泊周辺地域住民に対するヒアリングでは、「開業にあたっての事前説明がない」「管理者が常駐せず、トラブル時の連絡がつかない」と、不安・安全など周辺住民の生活環境を守る必要性から一刻の猶予も認められま

せん。

所在が特定できない民泊施設が半数以上あり、海外を含め京都以外の運営者が3割以上に上る等、指導が困難な実態はあるものの、速やかな対策が必要です。

5月2日、京都市議会議員団として、大震災で大きな被害が発生した熊本市へ行き、熊本市議会議員団に義援金をお届けしました。

余震が続く市内で多くの傷跡が残る現状を視察し、お話ししました。

震災発生直後は10万人を超える方が避難し、避難所運営など指揮命令系統が機能しない事態や、避難所の環境問題や、大量の物資の仕分けの問題。福祉避難所や、医療支援の必要性。さらに、民間委託や指定管理者の運営など様々な問題あり、役所役割が必要な罹災証明や家屋調査の遅れ等の問題が指摘されていました。

今後の教訓として生かす必要があると感じた訪問でした。



第133回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

5月21日(土) 午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党安井後援会事務所

佐々木 義人 801-9379

一人で悩まず、気軽にお越しください！

安心して歩ける七条通りを！

「住みよい西京極をつくる会」のみなさんと、昨年未から取り組んだ「七条通りのアンケート」の結果をまとめ建設企画課と懇談しました。

七条通りの拡幅は財政上厳しいとお話でしたが、549通のアンケートのうち、圧倒的多数の434人が「七条通りの早期拡幅」を望んでいるという結果を伝えました。課長からは「優先順位を



つけて整備を進める」という事でした。

幹線道路をつなぐ拡幅であり、地元要望も強く優先的に行うよう改めて求めました。

まいごおきこ

日本の超富裕層の税金逃れには開いた口がふさがりません。タックスヘイブン(租税回避地)を利用した富裕層の税金逃れが世界で問題になっています。資産総額2兆円のユニクロの柳井正氏。同氏が保有する株式を資産管理会社に譲渡し住民税・所得税を約7億円「税逃れ」していた(赤旗調べ)。ほかにも資産隠しをしている方は、少なくとも4人だとか。

本来税金は、累進課税を強化しもうけに応じた負担を求めるのが当たり前に抱えわらず、最高税率を引き下げ、累進課税を緩和し、大儲けを挙げている大企業に法人税減税をばらまきながら消費税を上げる庶民を苦しめ消費を冷え込ませる。このアベコベだけでも許せないのに、国民を踏みつけにしようとした資産をさらに、タックスヘイブンで租税回避。この国の、モラルはどこまで以上なのか。戦争法に原発再稼働、基地押しつけにTPP推進。黙っているわけにはいきません。いざ、声をあげ、政治を変えよう！